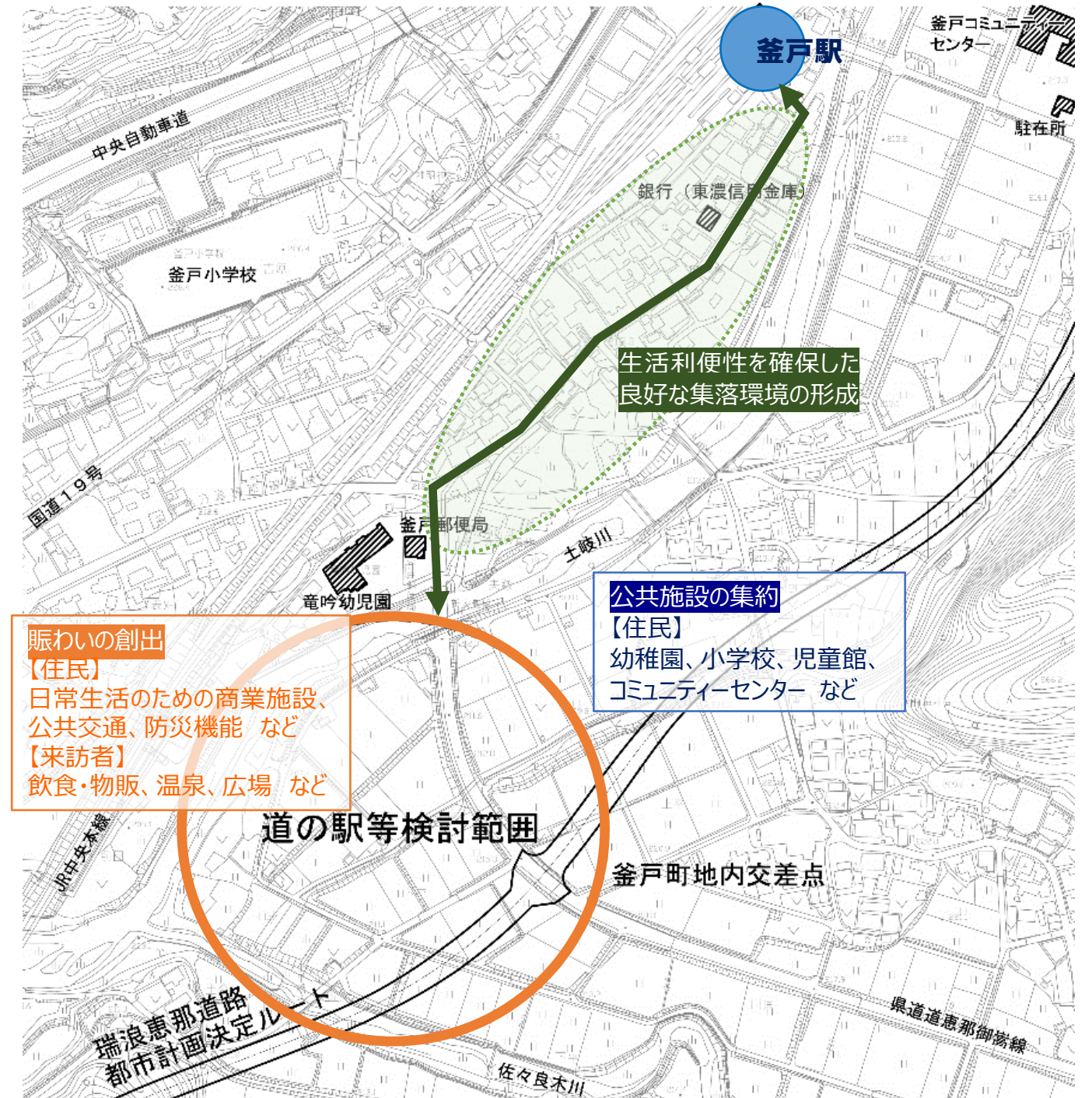


釜戸地区の地域活性化の方向性

■ 地域の課題と課題解決に向けた機能・施設

	釜戸地区の課題	課題解決に向けた機能・施設	
釜戸地区の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が著しい地区であり、地域の活性化が求められている。 ・地域産業が低迷するなど、地域の担い手の確保が求められている。 ・商店が減少しており、日常の買い物ができる生活利便施設の誘導が求められている。 ・公共交通や道路整備の改善が求められている。 ・安全な避難場所が求められている。 ・釜戸温泉を活用することが求められている。 ・コミュニティ施設の誘導を図ることが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て環境の充実が必要 ○雇用の場 ○スーパー・コンビニ ○公共交通の充実・利便性向上 ○道路整備 ○避難場所 ○日帰り温泉施設 ○コミュニティ施設 	
ワークショップ	住民の暮らしの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らすための公共交通、生活利便施設、医療・福祉施設が求められている。 ・暮らしの質を高めるためのレクリエーション施設が求められている。 ・地域の活力を維持するために子育て環境や教育施設の充実が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の充実・利便性向上 ○スーパー・コンビニ ○介護施設・病院 ○金融機関の窓口等 ○温泉 ○ゲームセンター・カラオケ、映画館 ○カフェ等飲食店 ○子どもが安心して遊べる遊具・公園、プール ○児童館 ○寺子屋、幼老学校
	賑わいを創り出す視点	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や温泉、未利用資源など、既存の資源を活かすことが求められている。 ・自然や食べ物、キャラクターやライトアップなど、釜戸地区にしかない個性を創り出すことが求められている。 ・交流拠点やイベント、温泉やカフェといった住民と来訪者の交流を生み出す拠点が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上平用水や佐々良木川などの水資源の活用 ○水晶山や竜吟峡、竜吟の滝への周遊促進 ○釜戸の特産品を活用したレストラン ○農業体験 ○インスタ映えスポットの整備 ○温泉 ○カフェ ○駅・駅周辺のイメージアップ ○バイク・自転車のツーリング拠点 ○キャンピングカーの拠点 ○BBQ場 ○道の駅 ○多彩なイベントの実施（マルシェ、イルミネーション）
	市民アンケート/釜戸・大湫住民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい地区となるためには、生活利便施設の充実や公共交通の充実、働く場の確保、災害等の安全性の確保が求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活利便施設 ○公共交通 ○働く場 ○災害等の安全性
	地域住民のための視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化拠点について右の機能・施設が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スーパー ○診療所等の医療機関
	道路利用者のための視点		<ul style="list-style-type: none"> ○コンビニエンスストア ○ファーストフード、カフェ、レストラン等の飲食店 ○温泉を活用した足湯や温浴機能 ○土産物等の地場産品の販売所 ○地域情報等を発信する観光案内機能 ○観光資源と連携した多様な体験プログラム
近隣県WEBアンケート			
事業者ヒアリング		今後実施予定	

■ 釜戸地区のまちづくり方針図（案）



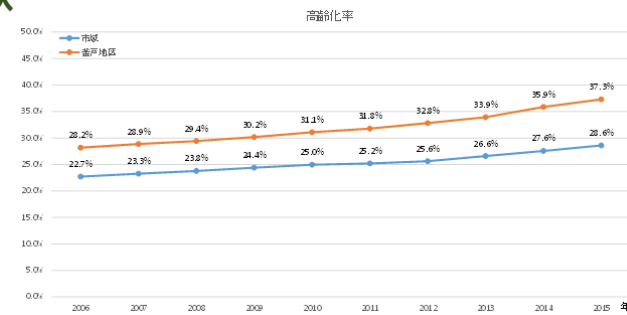
地域特性

■瑞浪市の現状

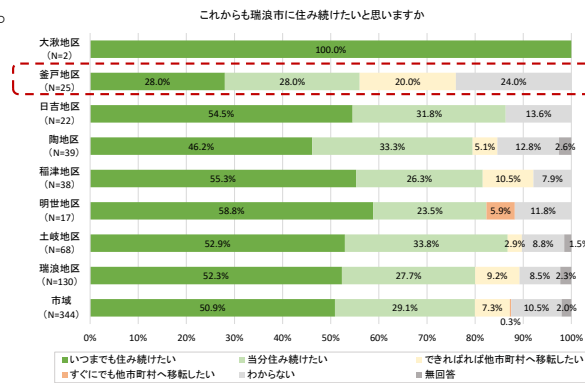
- JR中央本線瑞浪駅から鉄道で約1時間で名古屋駅に連絡する比較的利便性の高い地域である。
- 化石博物館や地場産業でもある美濃焼、鬼岩公園や大湫宿や細久手宿に代表される中山道、さらに「岐阜の宝もの」にも認定されている美濃歌舞伎など、観光資源に恵まれている。
- 窯業は、志野、黄瀬戸、織部など窯業史に残る作品を多く生み出す古い伝統を有し、市内には陶磁資料館や陶芸体験が可能な工房や窯も数多い。

■釜戸地区の現状

- 市域の中でも人口減少・高齢化が著しい地区である。



- 産業としては、窯業を中心とした製造業が多いが、市全体としての窯業・土石製造業が低迷しており、また商業も、地区内商店数が22店舗まで減少している。



- 市民意識調査(平成29年度)では、住みにくいと感じる割合が高く、その要因として公共交通や道路整備に対する満足度が他地区と比べると低くなっている。
- 現状の指定避難所は、全て土砂災害や水害が発生した場合に避難所として機能しなくなる可能性が高い。
- 釜戸地区を中心に、市内の森林地域内に13のゴルフ場があり、年間50万人以上が訪れる「ゴルフのまちみずなみ」を掲げているが、ゴルフ場利用者は、ゴルフ場以外の立ち寄りを行わない傾向にある。
- 自然ふれあい館や野外学習地、フィッシングパークなどの野外活動施設のほか、竜吟峡、屏風山、天狗塚などの自然環境に恵まれている。
- 計画地は集落・農業地区に位置づけられており、自然と調和する快適な生活環境や地域内外の多様な交流の推進を図る地区として、コミュニティ施設や生活利便施設の誘導を図ることが求められている。
- 釜戸駅から徒歩5分の立地で、放射能泉の天然温泉があるが、昔ながらの温泉宿(12室)が1軒のみであり、集客力に乏しい。

社会潮流・上位計画

■上位計画(総合計画、都市計画マスタープラン)における計画地周辺の位置づけ

- 地域拠点:
 - ・公共施設や日常的な商業施設が集積し、地域の生活やさまざまなコミュニティ活動がしやすい地区として活性化(地域の中心となるコミュニティ施設の整備・充実や生活利便施設の誘導)。
 - ・土岐川の親水空間整備や、新たな近隣公園の整備など公共空間を整備推進する。
- 交流拠点:(仮称)釜戸道の駅の実現化に向けて検討する。
- 集落・農業地区に位置づけられており、自然と調和する快適な生活環境や地域内外の多様な交流の推進を図る地区となっている。

■今後10年を見据えた主な社会潮流

- 人口減少・超高齢社会の更なる進行
- 産業の衰退やコミュニティの崩壊(地域社会から孤立する人の増加)など、地域活力の低下が懸念(地域格差が加速)
- リニア中央新幹線開業に伴い、名古屋への求心力(又は依存)が高まるとともに、リニア沿線の長野南部や山梨などとの交流の拡大が予測
- オリンピックを契機としたインバウンド観光が増加するなかで、外国人観光客の来訪目的が多様化
- 社会資本の更新を迎える中で、南海トラフにおける巨大地震発生や、集中豪雨や河川の氾濫等による大規模水害など、自然災害への不安が高まり、災害対策が急務

市民意向

■ワークショップ【釜戸地区の将来の方向性】

- 『住民の暮らしを支える』ため、安心して暮らすための機能や、暮らしの質を高めるための機能を整備する。
- 『地域の賑わいを創り出す』ため、既存資源の活用やそれら資源を活用した個性の創出、交流の場を整備する。
- 市民・住民アンケート【道の駅に必要な機能】
 - 地域住民の視点としては、スーパーや診療所等が、道路利用者の視点としては、温浴施設や体験プログラム、飲食店やコンビニエンスストアが上位に挙げられている。

■近隣県WEBアンケート

(地域活性化の拠点として道路利用者ニーズを把握するため、潜在的観光客の視点から、周辺の道の駅等の利用状況等を把握しながら、本市の道の駅に望ましい導入機能を導くことを目的として実施します。)

■事業者ヒアリング

(温浴施設の運営事業者に、温浴施設整備運営にあたり、留意すべき点や、集客の考え方等について確認することを目的として実施します。)

理念・コンセプト(案)

■理念

- 未来のまちづくりに向けた「地域活性化拠点となる道の駅」
- 集客力を高める「立ち寄り目的となる道の駅」
- 長期的な安定運営を可能とする「持続可能な道の駅」

■地域活性化の拠点のターゲットとコンセプト

【ターゲット(検討中)】

- ・釜戸地区の住民(年齢層は?)
- ・来訪者(年齢層は?どのエリアの来訪者?)

【コンセプト】

本施設の整備にあたっては次の前提条件を念頭にコンセプトを検討します。

- ・釜戸地区の地域課題解決に向けた施設
- ・長期に渡る段階的な施設整備を念頭に、施設整備の検討段階から開設・運営に至るプロセスを共有し、試行を重ねながら積極的に関わることのできる、住民主体の道の駅

“釜戸のまちとともに育つ道の駅”(仮)

■道の駅部分の主な導入機能(例)

【釜戸地区の住民の暮らしを支える】

- 日常の買い物や交通利便性の確保
 - ⇒スーパー、コンビニ、交通拠点
- 災害時の安全性の確保
 - ⇒避難施設、備蓄倉庫
- 多様な楽しみ方の創出(暮らしの質を高める)
 - ⇒子供が安心して遊べる公園、温泉、多様な飲食店

【釜戸地区に賑わいを創り出す】

- 既存資源の活用
 - ⇒自然に囲まれたBBQ場、上平用水や佐々良木川を活かした水辺空間の創出
- 釜戸地区の個性の発揮
 - ⇒釜戸の特産品の開発、特産品を活用した土産販売や飲食店、農業等と連動した体験プログラム、地元の祭りとの連携、イベント等による新たな個性の創出
- 釜戸住民と来訪者の交流促進
 - ⇒温泉、カフェ等の飲食店、交流拠点づくり(BBQ場、キャンプ等)、音楽やアート等多様なイベントの実施